

1 情勢報告

梶原町田野々集落説明会の開催（7月21日）



田野々集落説明会

梶原町田野々集落で、集落営農についての説明会が、部落代表者の呼びかけで、6月23日に引き続き開かれました。

振興センターからは集落営農について説明を行いました。前回出された意見を振り返り、田野々集落の水稲作の担い手の状況を確認し、田野々集落にあった集落営農の仕組みづくりについて話し合っていくことを決めました。

8月には集落営農の先進事例調査を計画しており、関係機関とともに組織化を支援していきます。

ショウガのヨウ化メチル剤の安全使用講習会の開催（8月3日、8日）



講習会での実技の様子

ショウガ栽培農家を対象に新しい臭化メチル代替剤ヨウ化メチル剤の安全使用講習会が開催されました。8月3日にはJA四万十大野見支所、8月8日にはJA土佐くろしお管内で行われました。講師は、中沢氏家薬業(株)の担当が務め、スライド説明と実技を伴う講習を行い、コストや薬剤の流通等の質疑もありました。振興センターからは、農業技術センターの試験研究成績等を説明し、理解を深めてもらいました。

本剤は、代替剤の中で最もコストが高く、効果は、臭化メチル剤よりやや劣りますが、臭化メチル剤のように処理が省力的に行えます。今後は、このような剤の特性に応じた使用方法について研修会等で説明していきます。また次年度現地実証をする予定です。

津野町直販所 秋まき野菜勉強会の開催（7月26日、8月18日）



勉強会の様子（東地区）

津野町直販所に出荷している生産者の方を対象に、秋まき野菜の勉強会が開催されました。（東津野地区：7月26日、葉山地区：8月18日）

勉強会では、「各店舗の現況報告・売れ筋情報」「秋まき野菜の栽培のポイント」「農薬の安全使用について」「新アンテナショップについて」等の情報提供がなされ、熱心にメモを取る生産者の方も多くおられました。

振興センターからは、農薬購入・使用の際に注意すべき点や、農薬の使用記録の重要性についての呼びかけを行いました。

今後も振興センターは、生産者の方の安全・安心の意識がより高まるよう支援を行っていきます。

## 1 情勢報告

### 津野町直販所 供給力向上WGの開催（8月22日）



津野町の地域アクションプラン「地域資源『ふる』活用推進」の中では町内の直販所ネットワークの販売額155百万円達成にむけての様々な取り組みが進められています。8月22日には直販所への出荷を向上させるための「生産・供給力向上WG」が開催されました。

WGでは、直販所販売過去3カ年のデータをもとに供給を伸ばせる可能性のある品目について洗い出し、作型の導入や、計画的作付け、農産加工品の出荷促進などの方策を協議しました。

今後は、町事業で整備された直販出荷用のハウスを活用した出荷期間の延長や、各品目の出荷を支える主要な生産者の組織化を進めていくことになっています。

振興センターでは引き続き、直販所の販売力向上による中山間地域の農家の所得向上を推進していきます。